

私のとっておき 長浜



当日橋近くの草野川

山崎 久和さん (大門町)



山崎久和さんご家族
後列左から：陽奈ちゃん、環奈さん、久和さん
前列左から：咲奈さん、悠久くん

このコーナーは、市民の皆さんのとっておきを紹介する市民情報交流コーナーです。市内の風景、場所、食べ物など、あなたの「とっておき」を紹介してください。市民広報室まで（☎65-6504）※営利を目的とした利用はできません。

子どもの頃、自宅近くを流れる草野川で、友達と暗くなるまで夢中で魚とりを楽しんだことを思い出します。

その川に時々家族と訪れ、一緒に川遊びをします。群れて泳ぐアユなどを見つけるのも面白いですし、上手な魚の捕り方を子どもに教えたり、木陰で涼むこともできて、楽しいひと時が過ごせます。

春には川沿いの桜並木を自転車で駆け抜ければ気持ちよく、秋は周囲の山々の紅葉が楽しめ、豊かな自然とふれあえるとても良い場所です。



ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews> 「長浜 ほっとにゅーす」 検索

8月1日(木)・2日(金) 淡海の名品「ふなずし」を漬けよう

朝日漁業協同組合主催の「ふなずし講習会」が行われ、市内外から定員を超える参加者が集まり、伝統の味を仕込みました。

講習会では県水産課職員と漁協の皆さんが講師を務め、子持ちニゴロブナの塩切り（塩蔵品）を用いて、フナを洗うところから漬け込みまでを実際に行いました。年末の仕上がりが楽しみです。



8月4日(日) 心安らぐ観音さまとの出会い

今年で29回目を迎える「観音の里たかつきふるさとまつり」。会場となった渡岸寺観音堂（向源寺）境内では、願かけ大風鈴が涼しげな音色を響かせ参拝者をお出迎え。門前市には地場産品などの模擬店が軒を連ね、特設ステージでは、地元グループがオカリナや琴、和太鼓などを披露し、大勢の人々で賑わいました。

実行委員長の中川定次さんは、「たくさんの方がお参りに訪れ、触れあい生まれる風土に感謝したい」と、喜びをにじませていました。

8月18日(日) 大自然を全身で感じて

「琵琶湖オープンウォータースイムレース」が南浜水泳場で開催されました。8回目を迎えるこの大会、出場者は年々増え続け、今回は8歳から77歳まで550人を超えるスイマーたちが500mから3.2kmまでの4種目に挑みました。

実行委員長の橋本忠さんは「この大会は、全国から集まる選手の出場料とボランティアで成り立つ自立型のイベント。清掃もみんなで行います。自然とスポーツを愛し、こうして集まる仲間を誇りに思う」と話しました。



8月18日(日) 歌舞伎役者になってみよう!

歌舞伎の化粧を学ぶ夏休み親子体験教室が曳山博物館で開催されました。指導にあたるのは、曳山まつりの子ども歌舞伎で化粧や振付を手掛ける岩井小紫さん。一工程ずつ説明を受けた保護者たちは、子ども達に化粧を施していきます。

特に歌舞伎独特の「隈取」は難しく、何度もお手本を見ながら慎重に描いていきました。

鏡を見た子ども達はいつもと違う自分にびっくり。最後には顔に布を押し当て、化粧を写し取る「押し隈」をして夏の思い出を持ち帰りました。



8月9日(金) 身近な自然から学ぼう

市内の各小学校3～6年生の有志らで組織する長浜市水生生物調査隊「みずすまし」の交流会が開かれ、1学期の活動報告などを行いました。

参加した隊員たちは、それぞれの学区内にある河川の上流と下流で見つかった水生生物の違いや、水質検査、周辺環境の観察などから、地域の特徴をまとめ発表。子どもたちは互いに刺激を受け、メモをとるなどして熱心に耳を傾けていました。



8月10日(土) 炎天下 みんなで奏でました

音楽をとおして街を元気にしようと、野外音楽イベント「湖北やんすこんす市民祭」が豊公園一帯で行われました。

照りつける日差しの下、開幕を飾ったよさこい演舞に続き、中央ステージでは、湖北の中学・高校の吹奏楽部や小学校の合唱団などがそれぞれの曲を披露しました。

吹奏楽部員総勢300人による大演奏会は圧巻。観客も手作りの簡易楽器で演奏に加わり、会場が一体となりました。

アマチュアバンドや地元グループも登場し、音楽三昧の楽しい一日となりました。

